

科目コーディネータ (科目責任者)	医学研究科長			問合せ先	医学部教務課 大学院担当			
副科目コーディネータ	遠藤 龍人 教授 (看護学部 看護専門基礎講座)			連絡先	内線5512、5511、5510/idaigakuin@j.iwate-med.ac.jp			
講義場所	-							
区分等	区分	講義	回数	通年8回	単位	1	配当年次	1・2
担当教員	遠藤 龍人 (看護学部 看護専門基礎講座 教授) 鈴木 悠地(リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野 特任講師) 前沢 千早 (腫瘍生物研究部門 教授) 若井 淳 (実験動物医学研究部門 講師)							
教育成果 (アウトカム)	教育成果						該当するディプロマポリシー	
	優れた診療能力や研究マインドを備えた医療系人材の育成、現場の視点を持った臨床研究または臨床を理解した基礎研究ができる人材の育成、優れた医学研究者の養成のために、医学研究を遂行する上で必要な基本的知識・手技について学ぶことにより、科学的判断力、倫理観に基づいて解決する方法を提案あるいは実践する基盤を形成する。						1, 2, 3, 4, 5	
達成目標	達成目標				対象講義			
	(1) 研究の手順と計画の立て方について概説できる。				(1),(4),(5),(6)			
	(2) 研究の意義、研究の妥当性、共同研究における目的の共有の意義について説明できる。				(1)			
	(3) 科学と社会との関係、研究における倫理的配慮、法令等の遵守について説明できる。				(1),(5),(6)			
	(4) 責任ある研究活動について概説できる。				(2),(4),(5),(6)			
	(5) 研究者の責務、研究における不正行為、著者資格 (オーサーシップ)、社会の中で研究者が果たす役割について説明できる。利益相反への適正な対応ができる。				(2),(4),(5)			
	(6) 研究を進めるにあたって知っておかなければならないこと、倫理綱領や行動規範、成果の発表方法、研究費の適切な使用など、科学者としての心得について説明できる。				(3),(4),(5),(6)			
(7) 研究に必要な周辺領域に対して理解し、説明できる。				(7),(8)				
資格取得等								
成績評価方法	<p>【2021年度以降の入学者】 受講票により総合的に評価する。成績は、ABCD (A:100~80点、B:79~70点、C:69~60点、D:59~0点) の4段階評価とし、ABC (60点以上) を合格とする (60点未満は再提出)。</p> <p>【2020年度までの入学者】 出席、レポートなどにより総合的に評価する。</p>							
特記事項	<p>各講義に対する事前学修の時間は最低30分を要し、内容は担当教員に確認すること。 受講票の記載が不十分な場合は、担当教員がコメントをつけて返却するので、期日までに再提出すること。 講義資料、課題提出に関しては、Web Classを活用し、講義動画をe-learningシステムで配信する。</p> <p>【2021年度以降の入学者】 受講後2週間以内に「受講票」をWeb Classにアップロードすること。なお、講義を欠席した場合やオンデマンド形式の講義については、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までにWeb Classにアップロードすること。</p> <p>【2020年度までの入学者】 講義の出欠は履修手帳で管理する。講義を欠席した場合は、e-learningシステムから講義動画を視聴し、別途指定する期限までに「受講票」をWeb Classにアップロードすること。</p>							
教科書・参考書								

月日	曜日	時限	内容/到達目標	担当教員	講義場所
5月27日	土	1	<b>(1) オリエンテーション／研究倫理 I (research ethics)</b> 研究の手順と計画の立て方について概説する。 1. 研究の意義、研究の妥当性、共同研究における目的の共有の意義について説明できる。 2. 科学と社会との関係、研究における倫理的配慮（同意を得る手続き、個人情報の保護、倫理審査）、法令等の遵守について説明できる。	遠藤龍人 (看護専門基礎講座)	Zoom
5月27日	土	2	<b>(2) 研究倫理 II (research integrity)</b> 責任ある研究活動について概説する。 1. 研究者の責務、研究における不正行為、著者資格（オーサiership）、社会の中で研究者が果たす役割について説明できる。 2. 利益相反への適正な対応ができる。	遠藤龍人 (看護専門基礎講座)	Zoom
詳細は入学後にお知らせします。			<b>(3) eL-CoRE (エルコア) 受講</b> 本eラーニングは、どのようにして科学研究を進め、科学者コミュニティや社会に対して成果を発信していくのかといったことについて、エッセンスになる事柄を整理しまとめたものである。研究を進めるにあたって知っておかなければならないことや、倫理綱領や行動規範、成果の発表方法、研究費の適切な使用など、科学者としての心得が示されている。受講履歴にかかわらず、今年度中に受講すること。	遠藤龍人 (看護専門基礎講座)	e-learning
5月27日	土	3	<b>(4) 研究関連情報収集、実験ノートの作成法とその意義</b> 1. 研究を遂行するにあたっての文献検索を行うことができる。 2. 研究目的に応じたデータベースを活用することができる。 3. 臨床現場で見出した課題から医学研究を実行することができる。 4. 実験ノートの基本的な書き方を説明できる。 5. 実験ノートを作成することの意義を説明できる。	鈴木悠地 (リウマチ・膠原病・アレルギー内科分野)	Zoom
6月3日	土	3	<b>(5) 論文作成法と生物医学雑誌への投稿における遵守事項</b> 1. 研究成果を発表するにあたって論文の推敲・投稿、reviceに関する方略を説明できる。 2. 生物医学雑誌への統一投稿規定と研究の実施と報告における倫理的配慮について説明できる。	前沢千早 (腫瘍生物学研究部門)	Zoom
6月配信	土	3	<b>(6) 動物実験と実験動物の基本的事項</b> 1. 動物実験の国際原則である3Rについて説明できる。 2. 動物実験の計画の仕方や必要性について説明できる。 3. 各種実験動物の特徴について説明できる。 4. 動物実験の指針について説明できる。 5. 動物実験倫理について説明できる。	若井淳 (実験動物医学研究部門)	e-learning (動画視聴)
随時			<b>(7) ベーシックセミナー認定セミナー受講①</b> 大学院学生が自分の研究を遂行する上で必要な基本的知識・手技を学ぶ機会を作ることを目的とする。さらにそれを理解し、実践することを目的とする。		
随時			<b>(8) ベーシックセミナー認定セミナー受講②</b> 大学院学生が自分の研究を遂行する上で必要な基本的知識・手技を学ぶ機会を作ることを目的とする。さらにそれを理解し、実践することを目的とする。		

<ベーシックセミナー認定セミナー>

- ・ 総合安全対策講習会（複数回開催）
- ・ 安全対策講習会（複数回開催）
- ・ 医学部倫理委員会教育セミナー（複数回開催）
- ・ 組換えDNA実験従事者講習会
- ・ 利益相反セミナー
- ・ 動物実験講習会
- ・ 放射線系の講習会 他

ベーシックセミナー認定セミナーは、大学内の各部署が主催する講演会やセミナーで、これから研究をしていく大学院生が受講すべき内容として認定されているセミナーです。認定セミナーは左記一覧のとおりです。**通年で2回以上の出席(もしくは動画等の視聴)及びレポート提出が必須です。**

**開催日時などの詳細については、Web Classに掲載しますので、必ず確認してください。**